



上田秋成の研究 賀茂真淵を中心とした近世和学の研究

人間文化学部 国際文化学科
講師 高松亮太（たかまつ りょうた）

連絡先 県立広島大学 広島キャンパス 1911号室
Tel 082-251-9965
E-mail takamatsu@pu-hiroshima.ac.jp

専門分野： 日本古典文学 日本近世文学

キーワード： 上田秋成 賀茂真淵 和学 国学

● 現在の研究について

○上田秋成の研究

上田秋成の名は怪談小説『雨月物語』の作者としてよく知られていますが、過去帳には「歌道之達人」と記されており、在世当時はむしろ歌人・和学者として有名でした。私は、その側面に注目し、秋成の歌人・和学者としての活動や人的交流に関する研究を進めるとともに、それらが創作活動にどのように活かされているのか、あるいは秋成文芸の生成に如何に関わっているのかという観点から、秋成の作品を分析しています。

○賀茂真淵と真淵学の研究

秋成の和学活動を追う過程で再認識させられたのは、賀茂真淵の学問の影響力でした。真淵に関する研究は、彼の名声からは想像もできないほど遅れています。真淵といえば、万葉主義・復古主義を唱えた人物として紹介されることが多いのですが、その思想の背景や内実を問い直す動きはあまり見られません。私は、周辺の学問的状况をも考慮しながら、真淵の学問に関する研究を行っています。

○真淵学の受容に関する研究

真淵学は近世中後期に全国各地に広く伝播していますが、その受容の様相は地域によって異なります。真淵の門弟や孫弟子らは、いったいどのような活動をしていたのか、真淵学はどのように摂取されていたのか、といった問題について広く考察しています。

● 今後進めていきたい研究について

引き続き、上田秋成について、歌人・和学者としての側面からアプローチを続けるとともに、和学以外の煎茶道・俳諧などの活動も視野に入れつつ、秋成の文芸を総合的に分析していきます。また、真淵学の受容の一面として、従来別個に研究の対象とされることの多かった、江戸の後期戯作と和学との関連についても検討を重ね、豊穡な近世文芸の一面を炙り出していきたいと考えています。

● 地域・社会と連携して進めたい内容

- 上記研究内容に基づく公開講座、市民講座、講演、読書会など。
- 和本リテラシー推進活動の一環としての、小学校の児童、中学校・高等学校の生徒を対象とした出前授業。また市民を対象とした読書会。
- 資料館、図書館等に所蔵されている江戸時代の資料の調査、内容の精査。
- 近世文学作品に描かれた宮島の考察と、その成果に基づく公開講座や講演。

● これまでの連携実績

- 記念館カレッジ「上田秋成と古典文学」講師（賀茂真淵記念館、静岡県浜松市）
- 嵐牛・友の会「講読・鑑賞の会」講師（嵐牛蔵美術館、静岡県掛川市）
- 日本近世文学会出前授業「昔の文字を讀んでみよう」講師（桐蔭学園、神奈川県横浜市）

など